

取扱説明書 890型 完成品

[1] 特 徴

- 「光」エネルギーによって 動きます(文字板下にあるソーラーセルが電気エネルギーに換える)
- 通常の中3針による時刻の他に日付を備えたアナログクォーツ時計です。
- ・フル充電で 約2ヵ月動き続けます
- ・電池交換は不要です
- ・エネルギー切れ予告機能月です、充電量が減少すると「2秒運針」し、充電が必要を示します
(この状態で 充電をしないと約1日以内に止まる可能性があります)
- ・即スタート機能付きで 止まっている状態で 光をあてると 直ぐ時動き出します

[2] 外観と時刻合せ概略案内

■ ご使用にあたって ■

この時計は「止まっている状態で光をあてると動きだします。



- この時計は一度フル充電すると、約6ヶ月間動きます。
- 光を十分あてないと、6ヶ月に満たないうちに止まる場合があります。

※フル充電状態からさらに充電しても過充電防止機能がはたらきますので安心してご使用いただけます。

■ 「止まっている状態」から動かすとき ■

<即スタート機能>付きです。

- ・太陽光または、1000LUX (蛍光灯30W直下70cm) 以上に数秒間あてると [2秒運針] を始めます。
- ・時計が動き始めてからも、十分に充電されるまでは [2秒運針] を続けますのでご注意ください。

[2秒運針]



[正常な運針]

引き続いて「光」を十分にあてる

1秒運針

※「即スタート機能」が働いて、時計が動きだしても [2秒運針] のままでは充電が不十分です。この状態で光をさえぎると止まってしまう可能性がありますので、さらに充電して、1秒運針になってから携帯してください。

※また、左の表にある時間まで充電しなくても、1秒運針になりますがその状態では、すぐに2秒運針に戻る場合もありますので、この時間をめやすに充電してください。

※充電所要時間の設定にあたっては標準的なモデルをベースにしておりますので、文字板等のデザインによっては必要な充電所要時間に差がでる場合があります。

[3] 使用方法

日付の合わせかた



- 1 りゅうずを1段引き出します。
※この時計のりゅうずは、2段に引けます。
- 2 りゅうずを回して前の日の日付にセットします。
- 3 りゅうずを2段目まで引き出し、今日に日付けになるまで針を回します。

※午後9時～午後4時までは日付けを合わせないでください。この時間帯に日付けを合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間外に針をうごかしてから日付を合わせてください。

※月末の日付修正について
2月(1ヶ月が28日、うるう年は29日) 小の月(1ヶ月が30日) では、月末または翌月の1日に、日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。

時刻の合わせかた



- 1 りゅうずを2段目まで引き出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。
- 2 りゅうずを回して針を合わせます。
- 3 時報と同時に りゅうずを押し込みます。

※午前・午後を間違えないように合わせないでください。(日付は24時間に一度変わるように設計されています)
※クォーツは機械時計と機構が異なりますので正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆にもどして合わせてください。

※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL117が便利です。

充電時間のめやす

光の明るさによって充電時間が異なります。次の表をめやすにしてください。

照 度 (LX)	光 源	環 境 (めやす)	フル充電までの 充電時間	確実な1秒運針になる までの充電時間	毎日動かすために 必要な充電時間
500	白熱灯	60W 60cm	約250時間	約15時間	約1時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	約175時間	約11時間	約 50分
1000	蛍光灯	30W 70cm	約120時間	約 6時間	約 30分
3000	蛍光灯	30W 20cm	約40時間	約 2時間	約 10分
5000	蛍光灯	30W 12cm	約22時間	約 80分	約 6分
1万	蛍光灯	30W 3cm	約10時間	約 30分	約 3分
1万	太陽光	曇天の屋外	約10時間	約 30分	約 3分
10万	太陽光	晴天の日の直射日光	約 3時間	約 8分	約 1分



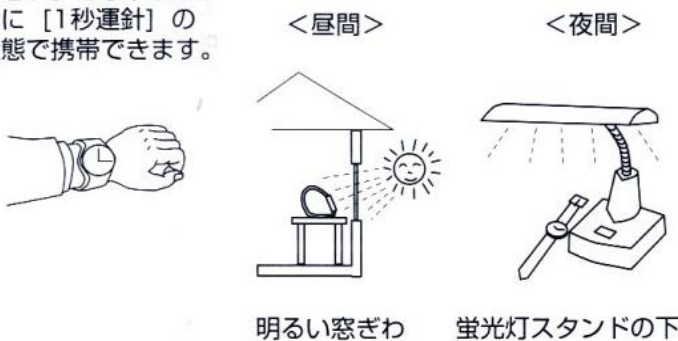
注意

- ・充電の際、写真照明ライト、スポットライト、白熱灯などに近付けすぎると、時計本体が高温になり、部品が損傷したり、内部の機能が損なわれる恐れがありますのでご注意ください。(光源に近づけての充電は蛍光灯が適しています)
- ・太陽光で充電する際にも、車のダッシュボード等では、かなりの高温となりますのでご注意ください。
- ・時計本体が50℃以上にならないようにしてください。

携帯中[2秒運針]にならないご使用方法

- ・袖口から時計が出るように腕につけてください。こうすれば、常に [1秒運針] の状態で携帯できます。
- ・時計をはずしておくときは、できるだけ明るい所に放置してください。

※50℃以上の高温にならないようにしてください。



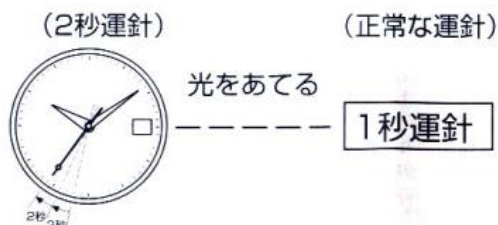
- ・ご就寝になる際[2秒運針]になっているときは、[1秒運針]になるまで、充電してから放置することをおすすめします。

携帯中に[2秒運針]になった時

[エネルギー切れ予告機能]付きです。エネルギーが不足してくると[2秒運針]して、"もうすぐ止まる" という警告を表します。ただちに光をあて (1秒運針) になってから携帯してください。

[2秒運針]を始めてから、光をあてないと約3日以内に止まる可能性があります。

※50℃以上の高温にならないようにしてください。



■ 使用電源について ■

- ・ 時計には、一般の電池とは異なる専用の二次電源を使用しておりますので、電池交換は不要です。
- ・ この二次電源は、環境に対して影響の少ないクリーンな電源です。
- ・ りゅうずを2段目まで引き出して時計を止めておいても、充電量の維持はできませんのでご注意ください。

⚠ 注意

- ・ 破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、一般の酸化銀電池は絶対に組み込まないように、ご注意ください。万一組み込まれても、回路に電気が通らない構造になっています。